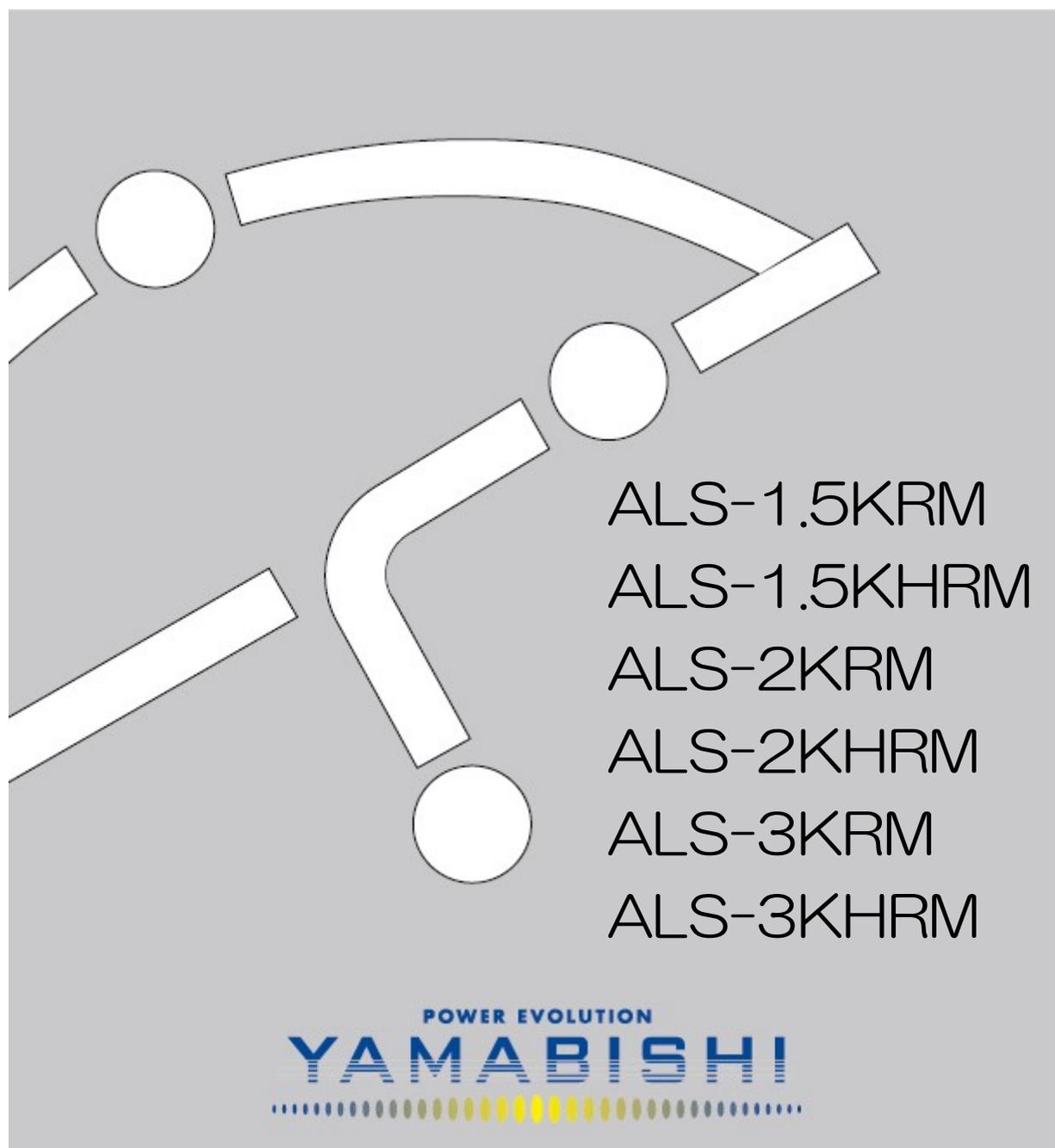


無停電電源装置 / 常時インバータ給電方式

*mini*UPS ALS-RM-Series

取扱説明書



安全上のご注意

このたびは「ALS-RM シリーズ」をお買上頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書の「安全上のご注意」を良くお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後も、お使いになる皆様がすぐご覧になれる場所へ保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品での表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぐ為の内容を記載しておりますので、必ずお守りください。

表示内容を見逃し、誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を下記で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険が切迫している内容」を表します。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表します。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生することが想定される内容」を表します。

次の表示では、お守りいただく内容を説明しております。

	この絵表示は気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示はしてはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は必ず実行して頂く「強制」内容です。

安全に関するご注意

必ずお守りください

危険

医療機器交通機関への使用禁止



人命に関する医療器、人身に損傷を与える可能性のある航空機、公共的に重大な影響を与える可能性のある交通システムなどの用途には、お使いにならないようお願いします。

警告

本書の注意事項をお守りください



取扱説明書記載の使用条件、環境などを遵守して下さい。

改造・分解・加工の使用禁止



製品の改造・分解・加工は行わないで下さい。
火災、やけど等ケガをする恐れがあります。

車載への用途禁止



常に振動が加わる車載の用途にはむいておりません。
振動により、能力が発揮できないほか火災の原因にもなり危険です。

注意

海外の使用禁止



海外でのご使用により発生した責務に対しまして当社は責任を負いません

正しくお使いいただくために

下記の事項をお守りいただかない場合、装置の故障や火災の原因にもつながりますので必ずお守りください。

本装置について

警告



メンテナンスには専門知識と技術が必要です。サービスマン以外の方はカバーをはずさないで下さい。

装置内には高電圧が印加されている部分があり、大変危険です。UPSは入力ケーブルを接続していなくてもバッテリーから電気が供給されます。



ヘアードライヤや電気ヒータ、レーザープリンタ、ノイズ・高調波を発生する機器、モータ類、変圧器等へのご使用はおやめください。



火気のそばに置かないでください。
直射日光、高温のもとでのご使用はおやめください。
適合するプラグ以外はお使いにならないでください。
吸排気口のそばにものを置かないでください。
電源と本装置の距離は離さないでください。
装置内に物や液体を入れないでください。

本装置を永くご使用いただく為に定期的なメンテナンスをお奨めします。

バッテリーについて

警告



バッテリーは高電圧や大電流を有しており、また毒性の強い電解液が入っています。

人体に触れると大変危険ですので、バッテリーを開けたり傷つけたりすることは絶対におやめください。



バッテリーは5年以内に交換してください。

目次

安全上のご注意	1
安全に関するご注意	2
正しくお使いいただくために	3
目次	4
概要	5
梱包物	6
装置各部の名称	7~9
設置	10
配線	11~12
操作	13~20
1. 装置の起動、停止	13
2. 運転モード	13
3. 液晶モニタ	14~15
3-1 運転モード表示	14
3-2 液晶モニタ表示内容	14~15
3-3 液晶モニタ表示切替え機能	15
4. 特殊設定	16
4-1 インバータ出力電圧設定	
4-2 グリーンモード設定	
5. 特殊設定方法	17~18
5-1 インバータ出力電圧設定方法	17
5-2 グリーンモード設定方法	18
6. 各種機能	19~20
6-1 バッテリ自己診断機能	19
6-2 インターフェイス接続	19
6-3 外部停止機能	20
トラブルシューティング	21~22
仕様	23
オプション	24~25

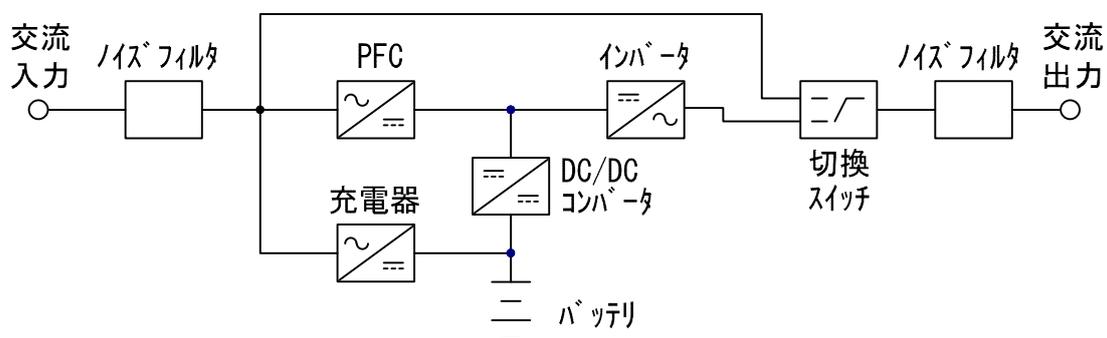
概要

特徴

この装置は、瞬停や停電時にも瞬断無く電力を供給し、お客様の大事な機器を守る無停電電源装置です。

また、常時インバータ給電方式のため、入力側の電圧や周波数に変動があっても、常に安定した電力を供給いたします。

更にフロントパネル操作により出力電圧を設定出来る他、PFC 搭載により高効率入力を実現した高性能多機能型 UPS です。



ALS-RM シリーズ ブロック図

梱包物

■ 梱包物について

最初に梱包物についてご確認ください。

型式	本体	バッテリーモジュール (別梱包)	スタンド	ラック 取付金具	入力 ケーブル	取扱説明書	ヒューズ
ALS-1.5KRM	1台	—	1組	1組	1本	1冊	1本
ALS-1.5KHRM	1台	—	1組	1組	1本	1冊	1本
ALS-2KRM	1台	1台	1組	1組	—	1冊	1本
ALS-2KHRM	1台	1台	1組	1組	1本	1冊	1本
ALS-3KRM	1台	1台	1組	1組	—	1冊	—
ALS-3KHRM	1台	1台	1組	1組	1本	1冊	1本

型式	スタンド	ラック取付金具	バッテリーケーブル	ブランクパネル
ALS-B	1組	1組	1本	1本

スタンド、ラック取付金具は2個で1組です。



本体



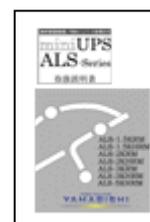
バッテリーモジュール



スタンド



ラック取付金具



取扱説明書



ヒューズ



入力ケーブル



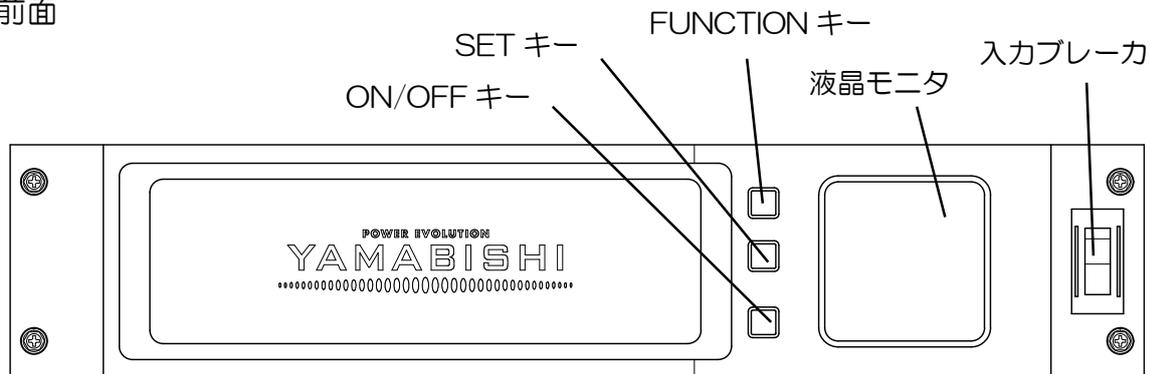
バッテリーケーブル



ブランクパネル

装置各部の名称

①本体前面



入力ブレーカ

商用電源を繋いで入力ブレーカを投入するとUPSがスタートします。

液晶モニター

動作状況が確認できます。機能の詳細はP 14～15をご覧ください。

FUNCTION キー

バッテリー自己診断を行う際に使用します。詳しくはP 19をご覧ください。

また、SET キーとの同時押しにより出力電圧変更とグリーンモードの設定が行えます。

設定方法はP 18～19をご覧ください。

SET キー

液晶モニタの表示を切替える際に使用します。詳しくはP 15をご覧ください。

また、FUNCTION キーとの同時押しによりインバータ出力電圧とグリーンモードの設定が行えます。

設定方法はP 17～18をご覧ください。

ON/OFF キー

通常モードとバイパスモードを切り替えます。

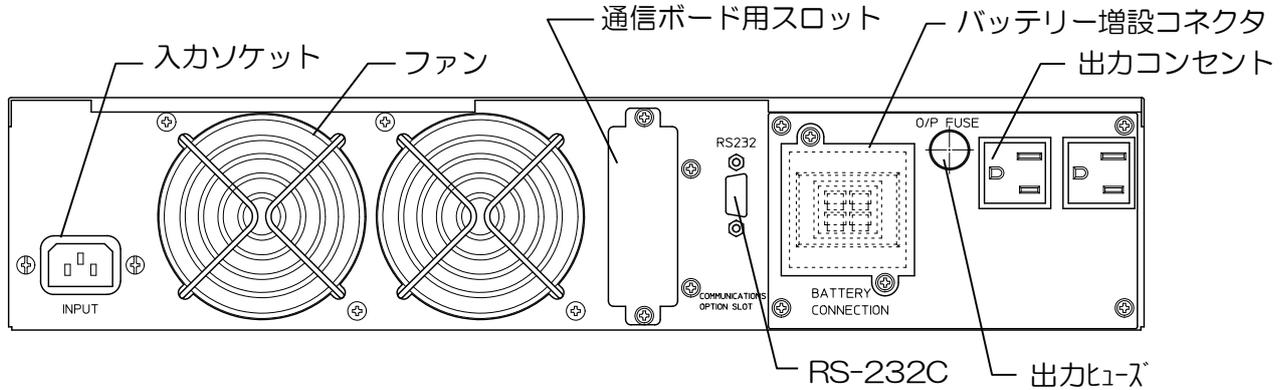
また、商用電源を繋げずに押すとバッテリー運転を開始します。

詳しくはP 13をご覧ください。

装置各部の名称

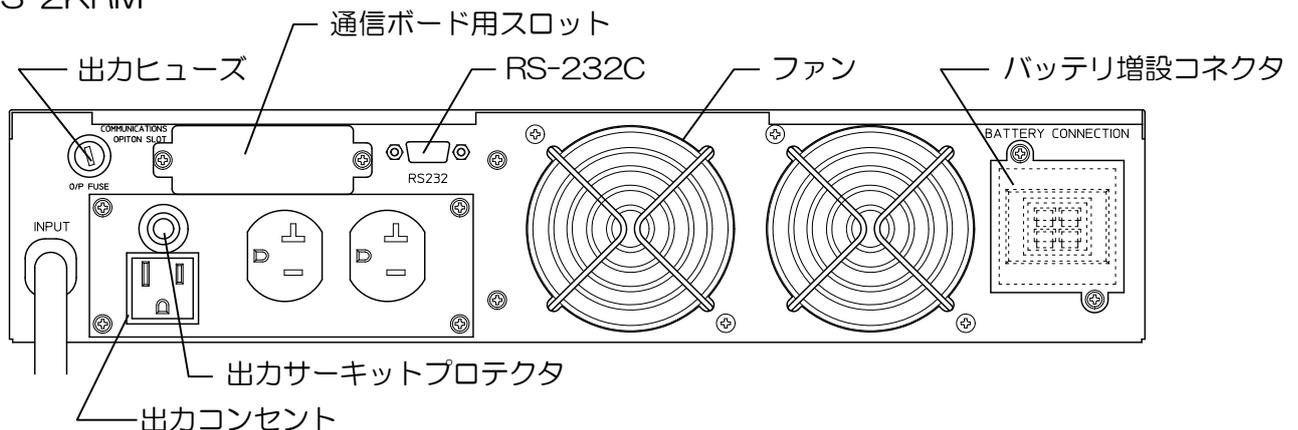
②本体背面

●ALS-1.5KRM



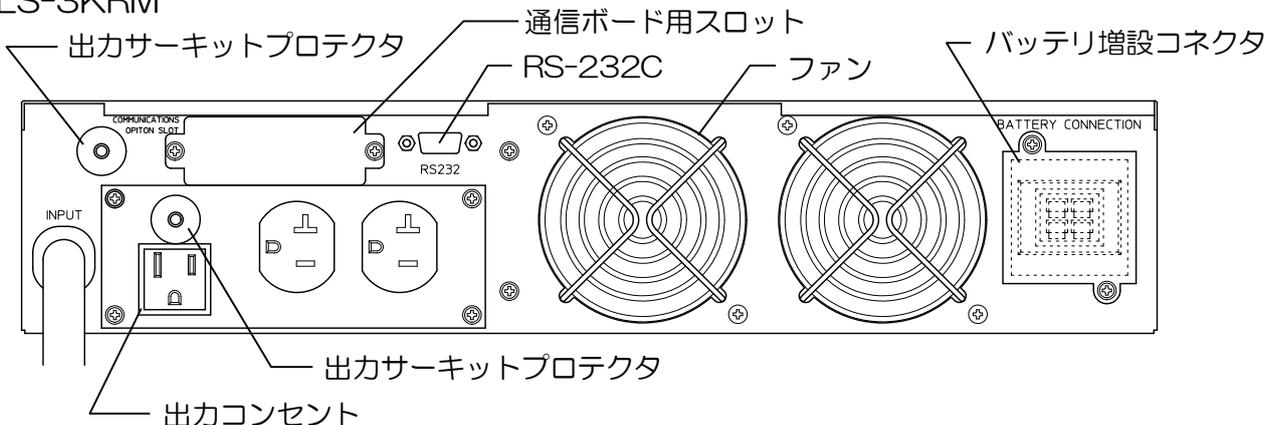
入力プラグ	NEMA 5-15P(15A)	出力コンセント	NEMA 5-15R(15A)×2個
-------	-----------------	---------	--------------------

●ALS-2KRM



入力プラグ	NEMA 5-20P(20A)	出力コンセント	NEMA 5-15R(15A)×1個 NEMA 5-20R(20A)×2個
-------	-----------------	---------	--

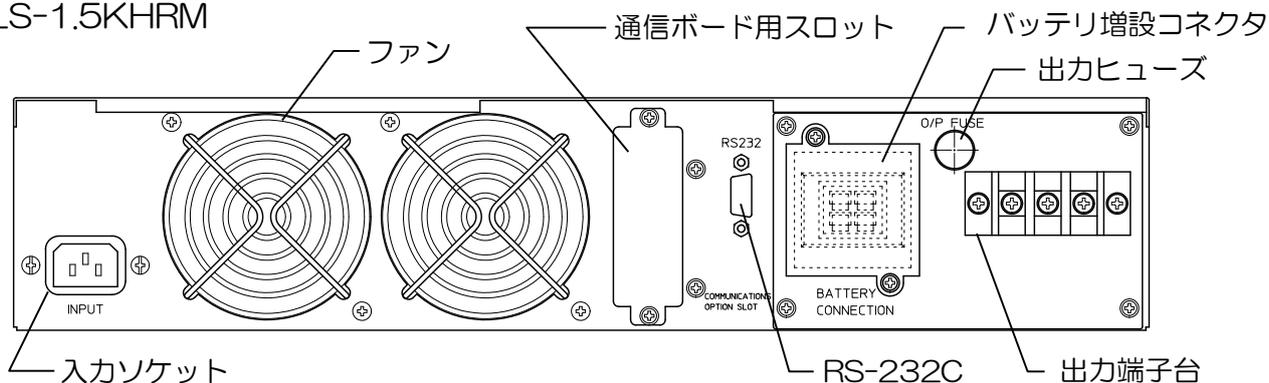
●ALS-3KRM



入力プラグ	NEMA 5-30P(30A)	出力コンセント	NEMA 5-15R(15A)×1個 NEMA 5-20R(20A)×2個
-------	-----------------	---------	--

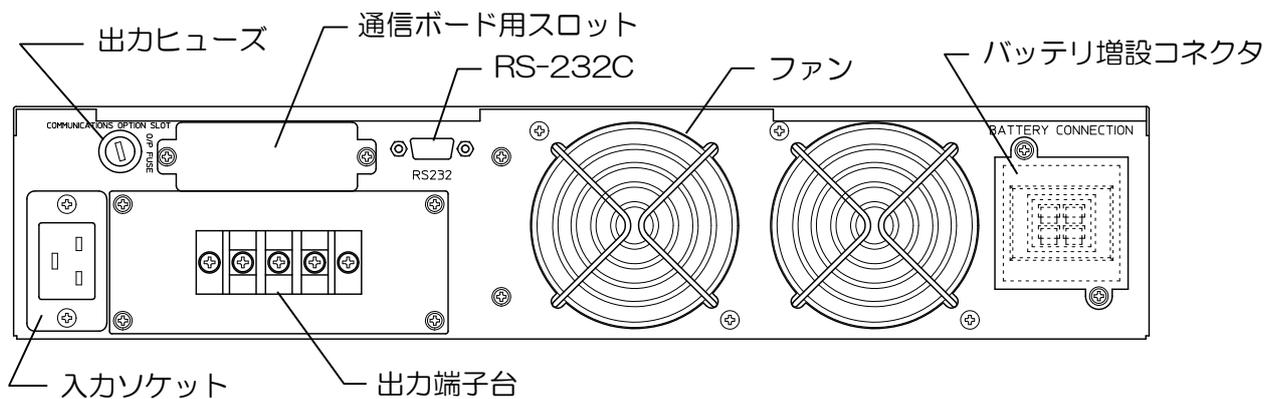
装置各部の名称

●ALS-1.5KHRM



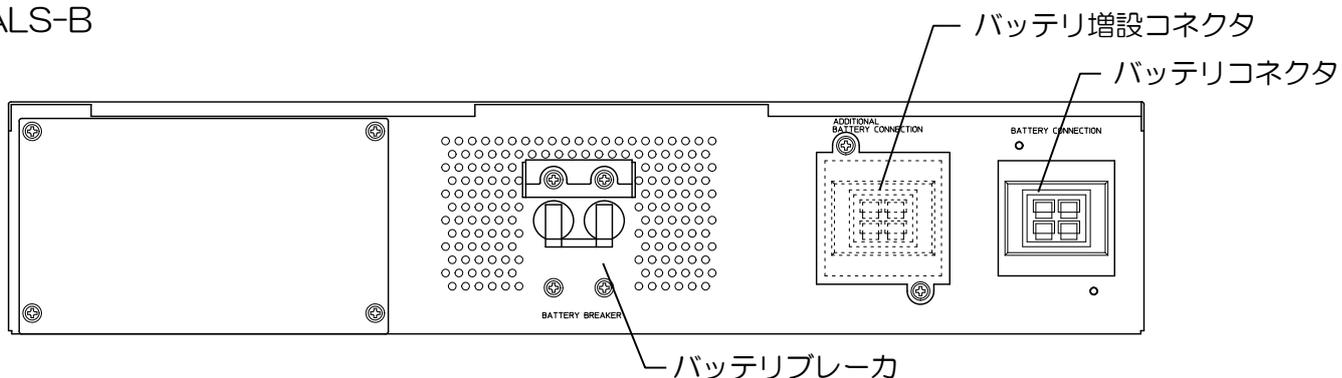
入カプラグ	NEMA L6-15P(15A)	出力端子	M4 3P 30A 600V
-------	------------------	------	----------------

●ALS-2KHRM/3KHRM



入カプラグ	2KHRM: NEMA 6-15P(15A) 3KHRM: NEMA 6-20P(20A)	出力端子	M4 3P 30A 600V
-------	--	------	----------------

●ALS-B



設 置

■ 設置場所について

以下の条件下での設置は本装置の故障の原因となります。ご注意ください。

注意

高温多湿な場所(周囲温度0~40℃ 湿度0~95%RHを超える)

※ 但しバッテリー寿命を長く保つため周囲温度10~25℃

の範囲の場所での設置を推奨いたします。



ディスプレイなど磁気の影響を受けやすい機器の近く。

塩分や腐食性ガスのある場所。

振動・衝撃のある場所。

粉塵の多い場所。

■ 設置スペースについて

安全のため以下をお守りください。

注意



本装置はファンを使った強制空冷を行っている為、正面10cm以上
背面10cm以上のスペースを確保してください。

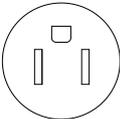
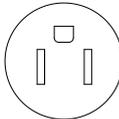
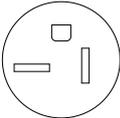
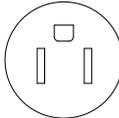
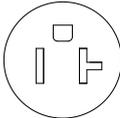
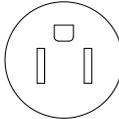
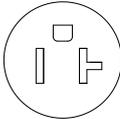
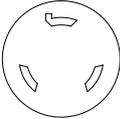
注意



本装置をラックに取り付ける際、付属のラック取付金具は本装置の
自重を保持できません。重量用ガイドや棚板等を使用して、自重に
十分耐えられるようにしてください。

配線

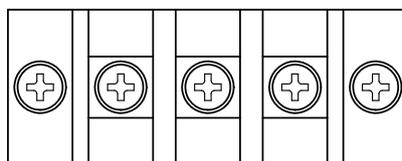
装置毎、コンセント形状は異なります。一覧表を参考の上、配線を行って下さい。

型式	入力		出力	
ALS-1.5KRM (NEMA5-15P) 3芯 1.31mm ² (13A)(1.7m)	プラグ		コンセント (NEMA5-15R 2個)	
ALS-2KRM (NEMA5-20P) 3芯 3.31mm ² (20A)(1.7m)	プラグ		コンセント (NEMA5-15R 1個) (NEMA5-20R 2個)	 
ALS-3KRM (NEMAL5-30P) 3芯 5.26mm ² (30A)(1.7m)	プラグ		コンセント (NEMA5-15R 1個) (NEMA5-20R 2個)	 
ALS-1.5KHRM (NEMAL6-15P) 3芯 1.31mm ² (13A)(1.7m)	プラグ		3P 端子台 (端子サイズ M4)	
ALS-2KHRM (NEMAL6-15P) 3芯 2.08mm ² (15A)(1.7m)	プラグ		3P 端子台 (端子サイズ M4)	
ALS-3KHRM (NEMAL6-20P) 3芯 2.08mm ² (15A)(1.7m)	プラグ		3P 端子台 (端子サイズ M4)	

※ 付属のケーブルは、本装置以外に使用しないで下さい。

端子台は以下を参考にして配線を行って下さい。

ALS-1.5KHRM / -2KHRM / -3KHRM



u v E

出力端子台

配線

バッテリーモジュール（ALS-B）は次のように接続下さい。

	<p>ALS-1.5KRM/1.5KHRM 追加バッテリー接続</p>
	<p>ALS-2KRM/2KHRM ALS-3KRM /3KHRM 標準バッテリー接続</p>
	<p>ALS-2KRM /2KHRM ALS-3KRM /3KHRM 追加バッテリー接続</p>

※ 接続バッテリーケーブルは、確実に接続して下さい。
また、バッテリーブレーカも必ずオンにして下さい。
上記が確実に行われていない場合、バックアップが行われませんので、ご注意下さい。

操 作

1. 装置の起動、停止

起 動

バッテリーブレーカを投入して下さい。
前面の入カブレーカを投入して下さい。
警報が鳴り約 10 秒間バイパスモードで運転をした後インバータ給電（通常モード）を開始します。
*商用電源を繋げずに ON/OFF キーを押すとバッテリー給電（バッテリーモード）になります。

停 止

フロントパネルの ON/OFF キーを「ピッ」と音がするまで約 1 秒間押し、バイパスモードに切換えます。（その際、液晶モニタがバイパスモードに切換わります）確認後、前面の入カブレーカを切って下さい。警報が鳴り、約 10 秒間で装置が停止します。

※ 10 秒間は目安です。UPS 容量により変化します。

2. 運転モード

<通常モード>

商用電源が正常時にインバータ給電をするモードです。電源異常時には無瞬断でバッテリー給電に切換わるモードです。

<バイパスモード>

商用電源をそのまま出力するモードです。このモードで停電があるとバッテリーによるバックアップができません。

<バッテリーモード>

停電時もしくは、商用電源が異常時にバッテリーから電力を供給するモードです。

※ ON/OFF キーを押す毎に、通常モードとバイパスモードが切り替わります。

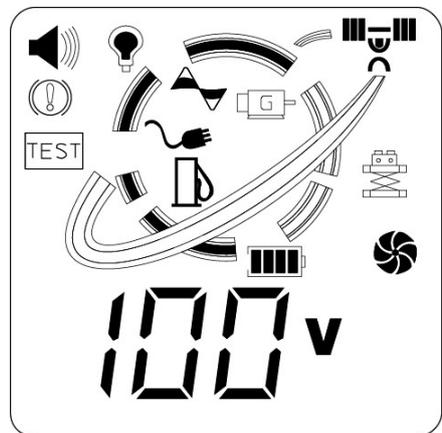
操 作

3. 液晶モニタ

3-1 運転モード表示



3-2 液晶モニタ表示内容

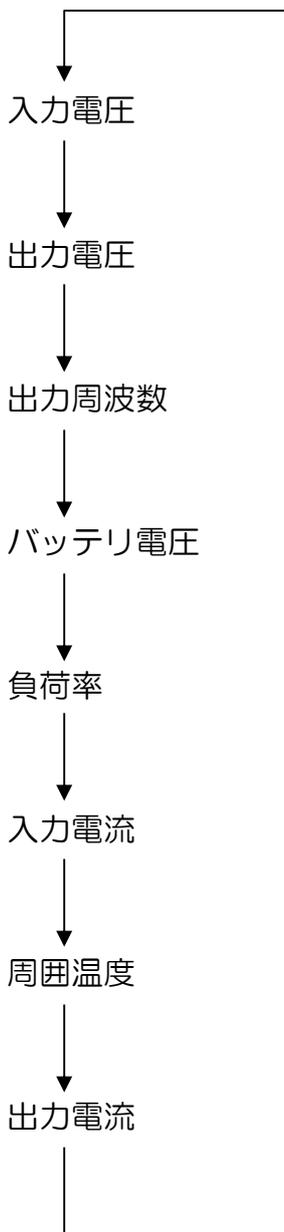


-  アラーム UPS 異常時に点滅します。
-  グリーンモード グリーンモード中に点滅します。
-  フォルト UPS 故障時に点滅します。
-  テスト バッテリ自己診断機能中に点滅します。
-  負荷 負荷が重くなる毎に多くのバーベルが点灯します。
-  インバータ 通常モード時に点灯します。
-  PFC PFC が正常運転中に点灯します。
-  入力 入力が正常時に点灯します。
-  充電 バッテリ充電が正常に行われている時に点灯します。
-  ブースタ UPS がバッテリーモード中に点灯します。
-  バッテリ バッテリの充電状態を示します。
-  ファン (高速回転) ファンが高速回転時 (バッテリーモード中) に点灯します。
-  ファン (中速回転) ファンが中速回転時 (通常モード中) に点灯します。
-  ファン (低速回転) ファンが低速回転時 (バイパスモード中) に点灯します。

操作

3-3 液晶モニタ表示切換え機能

SET キーを押す毎に液晶画面で UPS の状態をモニタリング出来ます。



<p>入力電圧表示例</p>	<p>出力電圧表示例</p>
<p>出力周波数表示例</p>	<p>バッテリー電圧表示例</p>
<p>負荷率表示例</p>	<p>入力電流表示例</p>
<p>周囲温度表示例</p>	<p>出力電流表示例</p>

操 作

4. 特殊設定

インバータ出力電圧の設定と省エネ設定(グリーンモード設定)への切換えを行うことができます。

4-1 インバータ出力電圧設定

出力電圧設定で、下記の設定が可能です。(設定方法はP17)

ALS-△△KHRM	200V	220V	230V	240V
ALS-△△KRM	100V	110V	115V	120V

4-2 グリーンモード設定

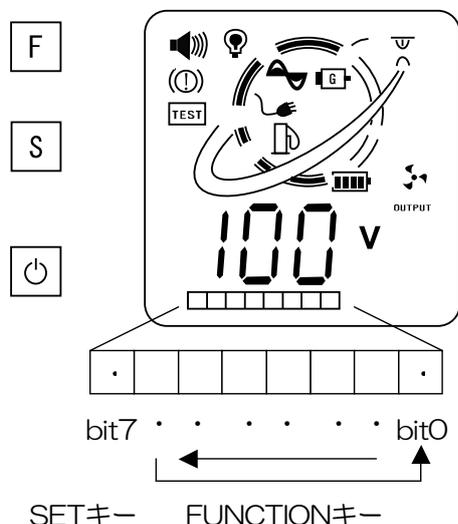
グリーンモードとは、低負荷時にはバイパスモードになり、本装置の消費電力を抑える省エネモードです。(設定方法はP18)

ALS-1.5KRM / -1.5KHRM	ALS-2KRM / -2KHRM	ALS-3KRM / -3KHRM
30W 以下	60W 以下	90W 以下



グリーンモード運転中に停電があった場合、バッテリーによるバックアップが出来ませんので設定には十分ご注意ください。

インバータ出力電圧及び、グリーンモードの設定の際には、特殊設定モードに入る必要があります。



② 特殊設定モードに入る及び解除するにはフロントパネルにある *FUNCTION* キーと *SET* キーを同時に1秒以上長押しします。

- ② *FUNCTION* キーを押すごとに bit0~6 が順番に点灯します。
- ② *SET* キーを押すごとに bit7 が点灯・消灯を繰り返します。
- ② bit0~1 と7 との点灯・消灯の組合せでインバータ出力電圧を、bit3 と7 との点灯・消灯の組合せでグリーンモードの設定・確認が出来ます。

操 作

5. 特殊設定方法

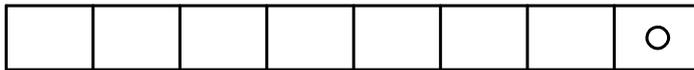
FUNCTIONキー（以下「F」）とSETキー（以下「S」）の操作でbitが点灯・消灯を繰り返します。Bit点灯・消灯の組合せで出力電圧設定およびグリーンモードの設定・確認が行えます。

5-1 インバータ出力電圧設定方法

! UPSの出力に装置が繋がれている際には、インバータ出力電圧の設定をしないでください。故障の原因となります。

- ①「F」と「S」を同時に「ピッ」と音がするまで長押しをして特殊設定モードにします。Bit列が液晶モニタ下部に現れます。
- ②最初、bit0のドットが点灯します。

図 - 1



- ③必要な電圧に応じて図 - 2を参考に「S」にてbit7のドットを点灯または消灯させてください。
- ④次に「F」を押すとbit1のドットが点灯します。「F」を必要以上に押ししてしまった場合、何度か「F」を押すことでbit1に戻ります。
- ⑤必要な電圧に応じて図 - 2を参考に「S」にてbit7のドットを点灯または消灯させてください。
- ⑥「F」と「S」を同時に「ピッ」と音がするまで長押しをして特殊設定モードを解除します。
- ⑦UPSを再起動します。

*インバータ出力電圧設定ではbit0、bit1、およびbit7以外は使用しません。
*ボタンを押してから表示が変更するまで多少の遅れがあります。

図 - 2

200/100V		
220/110V		
230/115V		
240/120V		



再起動方法は13ページの起動・停止をご覧ください。
装置の再起動で設定が反映されます。

操 作

5-2 グリーンモード設定方法

①「F」と「S」を同時に「ピッ」と音がするまで長押しをして特殊設定モードにします。Bit 列が液晶モニタ下部に現れます。

②最初、bit0 のドットが点灯します。

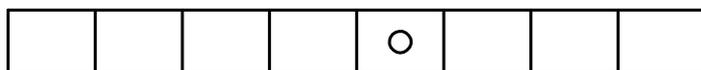
図 - 3



③次に「F」を3回押し、bit3 のドットを点灯させます。

「F」を必要以上に押ししてしまった場合、何度か「F」を押すことで bit3 に戻ります。

図 - 4



④図 - 5を参考に「S」にて bit7 のドットを点灯または消灯させてください。

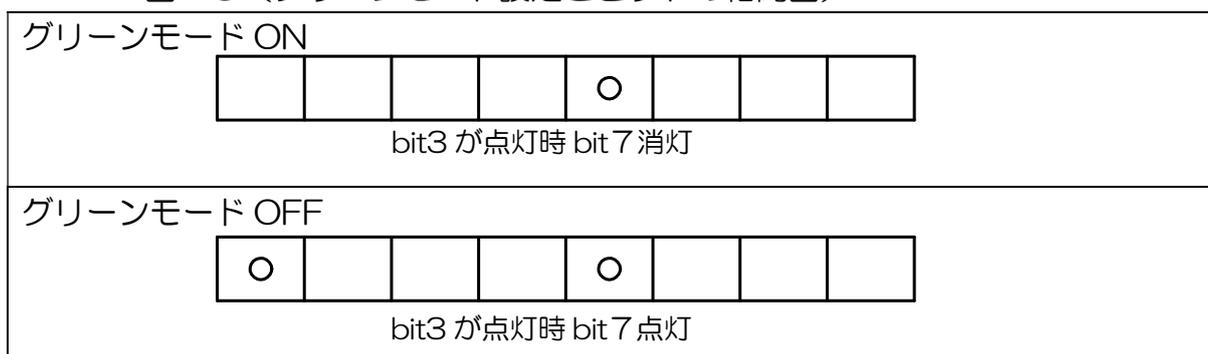
⑤「F」と「S」を同時に長押しをして特殊設定モードを解除します。

*特殊設定モード解除後に設定が反映されるため、UPSの再起動は不要です。

*グリーンモード設定では bit3 および bit7 以外は使用しません。

*ボタンを押してから表示が変更するまで多少の遅れがあります。

図 - 5 (グリーンモード設定とビットの相関図)



操 作

6. 各種機能

6-1 バッテリ自己診断機能

通常モード時に *FUNCTION* キーを約 2 秒間押すと、バッテリーモードに移行し自己診断を行います。

異常が無ければ約 10 秒間ほどで通常モードに戻ります。

バッテリー電圧が不安定な場合は、警報が鳴りバイパスモードに切り換ります。

※ バッテリーが繋がれていない場合は正常に自己診断ができません。

6-2 インターフェイス接続

本機は停電時にコンピュータをシャットダウンさせる通信インターフェイス (RS232C) を装備しています。

* オプションソフトの UPSilon2000 及び付属のケーブルが必要です。

対応 OS Windows7/8/10

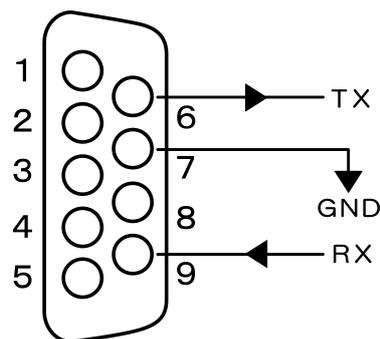
* Windows の UPS サービスには対応しておりません。

① RS232C の設定を次のようにしてください。

ボーレート	2400bps
データ長	8bits
ストップビット	1 bit
パリティ	無

② DB9 コネクタ・RS232C ピン配置

ピン番号	機能説明	I/O
9	RS232RX	入力
6	RS232TX	出力
7	GROUND	



6-3 過負荷保護機能

負荷率が 150% 以上になると、即時バイパスモードへ切り換りますが、その後負荷率が 100% 以下になっても、通常モードには戻りません。150% を超える負荷は使用しないでください。

トラブルシューティング

現象	原因	対処
商用電源に正しく接続されているがUPSが動作しない。このとき ON/OFF キーを押すとバッテリー給電される。	入力ヒューズ断、または入力サーキットプロテクタがトリップ。 *1	ヒューズを交換、またはサーキットプロテクタを押し戻してください。 *2
	商用電源から電力が供給されていない。	商用電源をご確認ください。
商用電源に正しく接続されているがUPSが動作しない。このとき ON/OFF キーを押してもバッテリー給電されない。	UPS故障。	ご購入先にご連絡ください。
	バッテリー異常。	バッテリーを交換してください。
UPSは動作しているが出力電圧が出ない。	出力ヒューズ断、または出力サーキットプロテクタがトリップ。 *1	ヒューズを交換、またはサーキットプロテクタを押し戻してください。
商用電源に正しく接続されているが、通常運転中にバッテリー給電となる。	商用電源電圧異常。	商用電源をご確認ください。
	商用電源周波数異常。	商用電源をご確認ください。
	商用電源検出回路異常。	ご購入先にご連絡ください。
グリーンモードを解除してもバイパス給電のままインバータ給電しない。	強制バイパス給電となっている。	ON/OFF キーを押してください。警告音が1回鳴り正常運転に戻ります。
フロントパネルのキーを押しても反応しない。	UPSが起動中です。	起動が完了するまでお待ちください。
	キーの故障、または内部に断線がある。	ご購入先にご連絡ください。
インバータ給電中にFUNCTION キーを押しても10秒以内にインバータ給電に戻ってしまう。	バッテリー不能。	バッテリーを交換してください。

トラブルシューティング

現象	原因	対処
フォルトアイコンが点滅する。*3	ご使用の装置の過大な突入電流。	突入電流を抑えてください。
	ご使用の装置の異常、または瞬時短絡。	ご使用の装置をご確認ください。
	UPS故障。	ご購入先にご連絡ください。
停電時、定格のバックアップをしない。	バッテリー不能。	バッテリーを交換してください。
	バッテリー充電が不十分。	充電してください。
	充電器異常。	ご購入先にご連絡ください。
5回の短い警告音が連続して鳴る。	内部温度異常。	吸気、排気口に障害物がないか確認してください。
		周囲温度を確認してください。
	ファン故障。	ファンを交換してください。
6回の短い警告音が連続して鳴る。	負荷率が高く商用電源電圧が低い場合入力過電流保護機能が作動。	商用電源をご確認ください。また負荷率を下げてください。

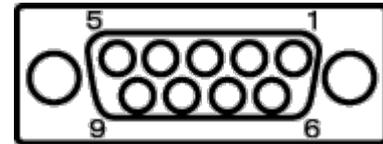
- *1 ヒューズ溶断、サーキットプロテクタトリップの要因は過電流です。ご使用の装置をご確認ください。
- *2 ALS-1.5K、1.5KH、2KH、3KHの入力ヒューズは内部にあります。交換の際はご購入先にご連絡ください。
- *3 フォルトが点滅しバイパス給電になった場合、UPS再起動により正常に戻る場合があります。

仕 様

型 式 仕 様		1.5KRM	1.5KHRM	2KRM	2KHRM	3KRM	3KHRM	
		常時インバータ方式						
給電方式		常時インバータ方式						
容量		1.5kVA(1050W)		2kVA(1400W)		3kVA(2100W)		
相数		単相 2 線						
定格電圧 (V)		100	200	100	200	100	200	
		110	220	110	220	110	220	
		115	230	115	230	115	230	
		120	240	120	240	120	240	
電圧精度		± 3%以内						
過度電圧変動		± 8%以内 (0 ⇄ 100%負荷急変)						
電圧波形		正弦波						
出力	クレストファクタ	3 : 1						
	電圧波形歪率	3.5%以内 (線形負荷にて定格運転時)						
	周波数	50/60Hz 自動切換						
	周波数精度	± 0.3%以内						
	切換時間	無瞬断 (停電⇄復電) : 4msec.以内 (インバータ⇄バイパス)						
	グリーンモード [*]	30W以下		60W以下		90W以下		
	負荷力率	0.7						
	停電保証時間	6 分間		8 分間		6 分間		
	充電時間 (90%)	8 時間						
	バッテリー種類	小型シール鉛バッテリー(期待寿命 5 年)						
	入力	相数	単相 2 線					
		定格電圧 (V)	85~132	170~265	85~132	170~265	85~132	170~265
		周波数	50/60Hz					
	機器効率		87%以上			90%以上		
インターフェイス		RS-232C (標準装備)						
オプション		警報接点カード他						
環境	冷却方式	強制空冷						
	発熱量 (Kcal/H)	118.8	126	132.2	144	180	194.4	
	周囲温度	0~40℃						
	湿度	0~95%RH						
	騒音	45dB以下						
外観	寸法 (mm)	W	426					
		D	500					
	H	88 (2U)		176 (4U) インバータユニット (2U) + バッテリーモジュール (2U)				
	質量 (kg)	23.2		44.4		44.6		

オプション

ALSシリーズでは、オプションとして警報接点出力カード「AC CARD」をご用意しております。「AC CARD」とは、本装置に内蔵していただくことにより、停電や故障時に本装置が電力を供給している間に以下の警報信号を出力し、お知らせします。また、外部から信号の入力も可能です。(1-2参照)
信号はDサブ9ピンコネクタより外部に引き出されます。



Dサブ9ピンコネクタ外観図

1. 警報接点信号について

1-1 警報接点信号の出力

- | | |
|------------|---|
| ①停電検出信号 | 商用停電時にクローズ(またはオープン)します。 |
| ②バッテリー容量低下 | 商用停電でバッテリーバックアップ中にバッテリーの残量が25%以下になった時にクローズ(またはオープン)します。 |
| ③故障 | 装置故障時にクローズ(またはオープン)します。 |

1-2 警報接点信号の入力

- | | |
|------------|--|
| ④リモートUPS停止 | 停電時にバッテリーバックアップが不要になった場合、この信号をオンにするとUPSが停止します。
これにより不必要なバッテリーの消耗を防ぐことができます。 |
|------------|--|

2. Dサブ9ピンコネクタ ピンアサイン

UPS 状態	ジャンパ選択 *工場出荷時	信号状態	Dサブコネクタ ピン番号
①停電		オープン	ピン4-5間
		クローズ	ピン3-5間
②バッテリー容量低下	*J4 ピン1-2間	クローズ	ピン1-2間
	J4 ピン2-3間	オープン	
③故障	*J3 ピン1-2間	クローズ	ピン8-9間
	J3 ピン2-3間	オープン	
④リモートUPS停止	J2 ピン1-2間	1秒以上DC12V印加による(外部電源使用)	ピン6-7間
	*J2 ピン2-3間	1秒以上短絡による(内部電源使用) ※注1	※注2

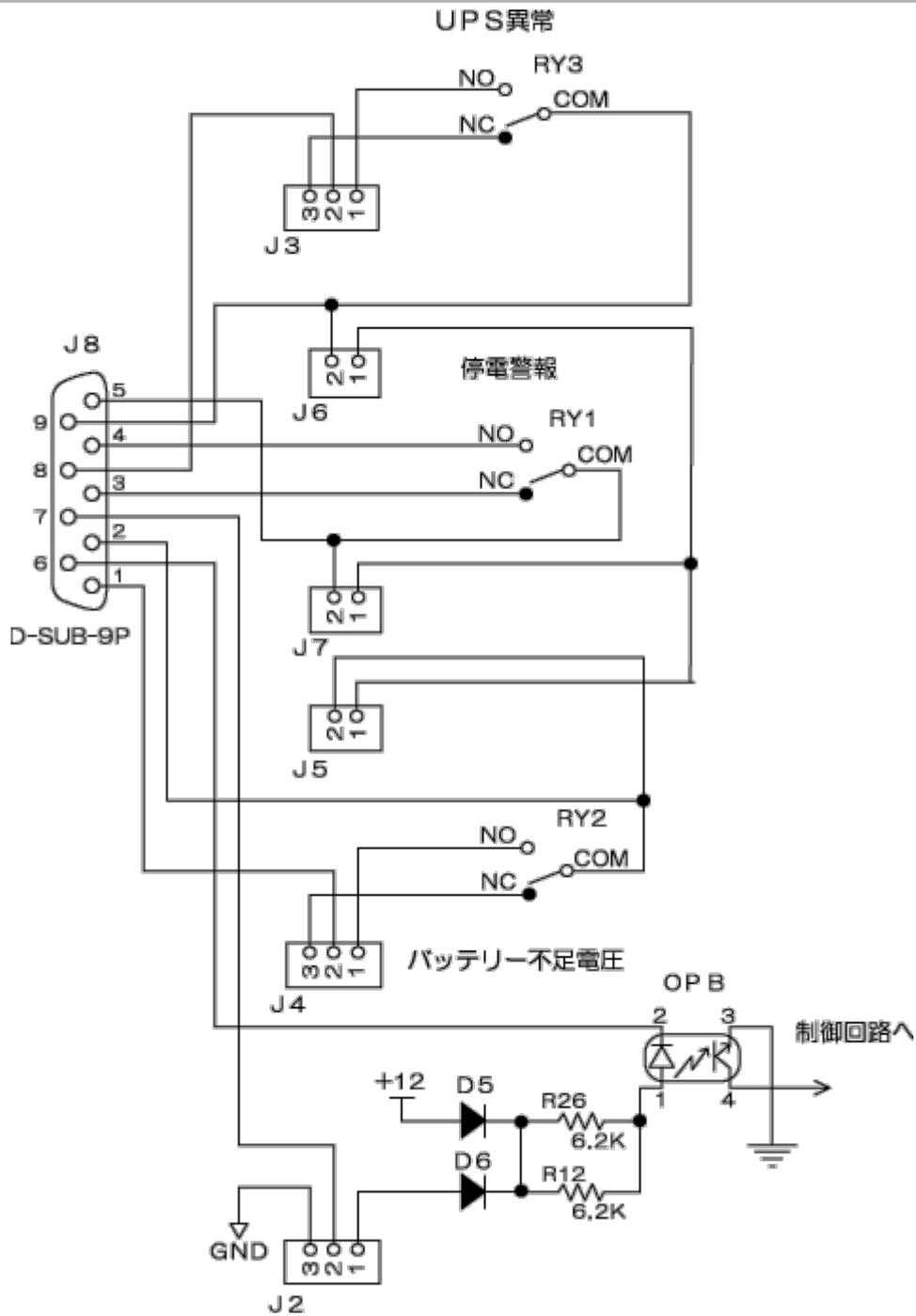
各接点のGNDを共通にしたい場合はJ5、J6、J7をジャンパ(短絡)してください。



※注1 内部電源使用の場合、Dサブ6-7ピンにDC約10Vが出てきますのでご注意ください。

※注2 外部電源使用の場合、Dサブ6番ピンにマイナス、7番ピンにプラスを入力してください。

オプション



AC CARD回路図

2-1 電氣的仕様

接点種別 機械式リレー(メカニカルドライコンタクト)

接点定格 DC50V/0.5A 以内

本製品についてのお問い合わせ・メンテナンスのお申込などがございましたら
お近くの営業所へご連絡ください。またeメールでも承っております。

株式会社 YAMABISHI

<http://www.yamabishi.co.jp>

sales@yamabishi.co.jp

東京営業所	〒143-0016	東京都大田区大森北 2-4-18 大森ビル	Tel 03-3767-8861	Fax 03-3767-7080
-------	-----------	-----------------------	------------------	------------------

名古屋 Sales&Pit	〒461-0025	愛知県名古屋市東区徳川 1-17-43	Tel 052-325-7511	Fax 052-325-7510
------------------	-----------	---------------------	------------------	------------------

大阪 ZEO	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島 5-12-8	Tel 06-6307-2751	Fax 06-6307-2752
--------	-----------	---------------------	------------------	------------------
